

学体連会報

発 行 所

発行日・昭和52年11月7日
東京都渋谷区代々木神園3番1号
オリンピック記念青少年総合センター内
財団法人日本学校体育研究連合会
編集責任者 会長 今村嘉雄

学 体 連 の 現 状 報 告

会 長 今 村 嘉 雄

秋涼の候となりました、ますますご健勝、ご発展のことと拝察します。

「日本学校体育研究連合会」も関係各位のご協力のもとに、全都道府県加入も、ほぼ達成され、文部当局の指導助言のもとに一段と体制を強化することができましたので、さらに決意を新たにしまして所定の事業を強力かつ正確忠実に推進していきたいと考えています。

以下、順を追って現状につきご報告致します。

1. 概 要

本会は、昨年11月17日「寄付行為」を大中に改正し、さらに12月17日、文部大臣から「試験研究法人」の認可を

得ました。(既報)以来、鋭意その趣旨の徹底に努力を重ねてきました結果、時間的な制約があったにもかかわらず、従来の基本金30万円を一躍1,100万円台にのせることができましたし、全国学校体育研究大会開催県(滋賀県)への学校体育助成を含め、約700万円程の学校体育助成をすることができました。

本年度に入り、法人の運営等につき検討を要する問題が生じたので、文部省体育局と緊密な連絡をとり、次のような基本方針を確立することになりました。

- (1) 財団法人として寄付行為に定める優良体育施設用具・用品等の認定および推せん行為にとどめること。

- (2) 学校体育用品の認定、推せんの基準は公開し、その基準に合致するものについては、申請があった場合には、所定の手続をへて、すべて認定・推せんすること。
- (3) 前2項との関係において特定の企業との結びつきは一切排除すること。
- (4) 寄付金の募集にあたっては、試験研究法人等に対する寄付制度の趣旨から、可能な限り各界からの寄付を募るように努めること。
- (5) 試験研究法人としての本会が受け入れた指定寄付金については、試験研究法人等の認定の条件に従って支出すること。

52年度の事業計画及び予算は既に、去る3月末の全国評議員会並びに全国理事会で承認されていますが、前記の基本方針の線にそって、一部修正されました。それについては事業計画修正表(別紙-1)・補正予算表(別紙-2)を参照して大略のご理解をお願い致します。

2. 助 成

助成内容は予算表の通りです。
このうち研究学校助成(10万円×45件

=450万円)、研究調査助成(5万円×8件=40万円)については別記(別紙-3)の如き要項によって公募しました。

3. 優良体育施設用具・用品の研究・認定・推せん

学体連内に理事及び、小・中・高校からの専門委員若干名で組織された「施設委員会」があり、とくに学校体育用の器機・器具の研究と、良品の認定推せんに当ることになっています。またそれと同様の構成で「用品委員会」があり、とくに小・中・高校での体育・スポーツ着及び体育スポーツシューズ等の調査研究や、良品の認定、推せんを行なっています。

4. 財 源

「学体連」の財源は、予算表でも明らかのように、指定寄付、一般寄付、賛助会費、補助金、加盟分担金、基本収入、事業収入であり、法人による寄付と賛助会費が、全予算額の80%以上を占めています。

加盟分担金は、都道府県単位で、1万・2万・3万の三段階になっていま

して人口比で16年前にきまったものです。

大中に増額してはという声もありますが、当分は現状を維持していきたいと考えています。

以上のような実情でありますので、本会の財源を充実させるためには、先ず第1に、前述のように、指定寄付制度を活用し、各界から指定寄付をあおぎ、助成事業の拡大とあいまって基金を充実させ、第2に、賛助会員の増大をはかり、第3に、体育、とくに学校体育・スポーツに理解のある、もろもろの財団等の善意と協力をうることでしょう。

学体連は、目下のところ、上の三点に重点をおいて、財源の充実をはかりたいと考えていますので、各位のご理解とご協力を切にお願い致します。

5. 事務機構の充実

これまで学体連は、代々木のオリンピック記念青少年総合センター内の本部事務所が、甚だしく手狭なため、分室を五反田駅前の富久屋ビル内にもっていましたが、このたび、総合センター及び文部省の格段の配慮をいただき、総合センター内に、現事務所に数

倍する広い部屋に移ることができるようになりましたので、分室を閉ざし、総合センター室にまとまることになりました。

同時に事務職員も3名に増員しました。

これで、事務の分掌も明確になりましたし、その処理も大変機能的になりましたので、今後は各位のご要望や連絡にも、一層正確、敏速に応ずることができるかと確信しています。

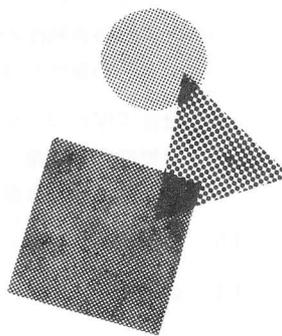
事務職員は、小碓^{こいかり}松次郎(長)・谷藤欣吾・高見玉子の3名です。

6. 体育優良校並びに体育功労者決定

優良校・功労者については、10月4日の中央審査委員会で決定しました。

来る11月29日、熊本市で開催される、第16回全国学校体育研究大会で表彰致します。

以 上



昭和52年度事業計画

(昭和52年10月31日一部修正)

財団法人 日本学校体育研究連合会

次のように今年度事業を計画している。

1. 第16回全国学校体育研究大会
昭和52年11月29日(火) 30日(水) 熊本市において開催
2. 第27回全国保健体育優良校・第7回功労者表彰
昭和52年11月29日(火) 午前10時より。第16回全国大会の開会式に続いて行う。
3. 第8回全国学校体育指導者講習会
東京会場 8月23日(火) 24日(水) 新体操の理論と実技
名古屋会場 12月26日(月) 27日(火) 同上
4. 学校体育助成事業
 - (1) 研究学校助成
 - (2) 研究調査助成
 - (3) 全国大会研究調査助成
 - (4) 「学校体育研究」の作成
5. 優良体育用品等の認定ならびに推せん
トレーニングウェア及びスポーツシューズの認定に必要な規準書・規格書等を作成し、その認定ならびに推せん事業を行う。
6. 体育施設用具の研究と調査
7. 体操伝習所設立100周年記念事業への協力
明治11年(1878年)体操伝習所において日本の学校体育は発祥してから明年で満100年となるので、記念事業の準備に協力する。
8. 組織の拡充
 - (1) 加盟団体の拡充
未加盟2県の加盟を促進する。
 - (2) 賛助会員制度の充実
多くの賛助会員を募り、運用資金の充実をはかる。
9. 財源確保について
賛助会員募集とともに、各界から指定寄付を募ることによって、財源を確保し、助成事業を拡大し、基金の充実をはかる。
10. 諸団体との提携
11. 会報の発行

昭和52年度研究助成募集要項

1. 目的 学校体育に関する研究調査ならびに学校における体育活動および体育研究活動に必要な援助を行い、もって学校体育の発展に寄与することを目的とする。
2. 対象 学体連加盟の都道府県小・中・高等学校およびその研究グループ。
3. 助成内容
 - (1) 研究学校助成 (450万円、45件)
保健体育の指導または経営等に関する学校ぐるみの研究に対し、1件10万円、45件まで。
 - (2) 研究調査助成 (40万円、8件まで)
保健体育の指導または経営等に関するグループの研究に対し、1件5万円、8件まで。
 - (3) 全国大会研究調査助成〔既に決定済みである。〕
 - (ア) 熊本大会 (150万円、20件)

小学校	6	} 20分科会の助成にあてる。
中学校	6	
高等学校	8	
 - (イ) 群馬大会 (50万円)
53年度全国大会研究発表校の研究調査費に配分する。
4. 申し込み
 - (1) 様式 所定の様式による。但し、学校研究助成申込書(学校を対象とするもの)と研究調査助成申込書(グループを対象とするもの)とがある。
 - (2) 宛先 〒151 東京都渋谷区代々木神園町3番1号
オリンピック記念青少年総合センター内
財団法人日本学校体育研究連合会 ☎03(465)3954
 - (3) 期限 昭和52年11月5日
 - (4) 通知 助成審査委員会による審査の結果を11月25日(金)までに発表通知する。

つづく

5. 助成金の交付

助成金は昭和52年12月10日までに交付する。

6. 報告書提出

昭和53年3月20日(月)までに 申し込み、宛先に送る。

〔様式1〕 昭和52年度学体連助成申込書 (学校研究助成)

〒	学校所在地	学校名	電話番号	
ふりがな 校長氏名	ふりがな 体育主任氏名	ふりがな 研究主任氏名	学級数	教員数 (専任のみ)
研究の概要 (約800字詰)				

〔様式2〕 昭和52年度学体連助成申込書 (グループ研究助成)

グループの名称	グループ責任者名・印	責任者所属校名・所在地・電話番号		
		Tel		
グループ 構成員	学校所在地・電話番号	学校名	ふりがな 校長名・印	ふりがな 研究者氏名
研究の概要 (約800字詰)				

以上

〔 学 体 連 本 部 役 員 〕

会 長	今 村 嘉 雄	(東 京)	理 事 長	重 田 一	(東 京)
副 会 長	遠 山 喜 一 郎	(")	常 務 理 事	坂 井 逸 治	(")
"	鈴 木 正 三	(")	"	坪 井 芳 雄	(")
"	須 貝 光 一	(")	"	川 口 一 夫	(")
"	酒 井 一 九	(")	"	岩 崎 正 春	(")
"	館 野 進	(大 阪)	"	入 倉 富 夫	(")
"	江 藤 惠 治	(熊 本)			

〔 都 道 府 県 支 部 会 長 〕

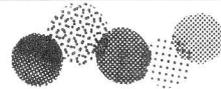
北 海 道	川 田 正 徳	(静 修 高)	京 都	安 田 祐 治	(本 能 寺 小)
青 森	新 岡 精 弥	(青 森 西 高)	大 阪	館 野 進	(摂 津 高)
岩 手	加 藤 昌 得	(アレン短大)	兵 庫	竹 崎 敏 夫	(長 田 高)
宮 城	佐 藤 信 重	(宮 城 教 大)	奈 良	土 谷 正 規	(女 子 大 附 小)
秋 田	和 田 勝 太 郎	(秋 田 経 済 大)	和 歌 山	福 島 篤 二	(河 西 中)
山 形	河 田 利 夫	(天 童 高)	鳥 取	椿 公 爾	(由 良 育 英 高)
福 島	菊 地 哲 男	(福 島 大)	島 根	渡 辺 晴 夫	(県 教 委)
茨 城	石 田 瑞 穂	(石 川 小)	岡 山	大 原 利 貞	(芳 泉 高)
栃 木	植 竹 幸 重	(大 田 原 中)	広 島	広 川 義 信	(皆 実 高)
群 馬	上 田 敬 治	(桐 生 商 高)	山 口	藤 原 敬 治	(県 教 委)
埼 玉	前 田 耕 平	(浦 和 高)	徳 島	北 島 豊	(内 町 小)
千 葉	遠 山 喜 一 郎	(東 女 体 大)	香 川	大 島 久 俊	(高 松 高)
東 京	鈴 木 正 三	(学 習 院 大)	愛 媛	岡 部 典 民	(南 中)
神 奈 川	牧 田 勝	(厚 木 第 一 小)	高 知	隅 川 清	(高 知 大)
石 川	羽 柴 清 信	(戸 板 小)	福 岡	大 石 英 幸	(城 南 高)
福 井	牧 野 庸 雄	(丹 生 高)	佐 賀	山 田 義 雄	(循 誘 小)
山 梨	小 林 勝 彦	(機 山 高)	長 崎	奥 更 屋 武	(小 島 中)
長 野	田 中 興	(竜 峡 中)	熊 本	江 藤 惠 治	(氷 川 高)
岐 阜	横 井 宣 生	(ろうあ高)	大 分	三 浦 敏 夫	(大 在 中)
静 岡	渡 辺 福 太 郎	(藤 枝 東 高)	宮 崎	服 部 七 郎	(南 高)
愛 知	上 島 三 夫	(名 古 屋 西 高)	鹿 児 島	永 山 次 男	(南 高)
三 重	小 畑 秀 久	(嬉 野 中)	沖 繩	玉 城 幸 男	(浦 添 中)
滋 賀	北 村 虔 一 郎	(草 津 中)			

〔 賛 助 会 員 〕

木村福督（埼玉）	（有）中日体育社	大久保体器（株）
峯友直（"）	（株）舟岡製作所	弥生物産（株）
立津時男（沖縄）	（有）上坂鉄工所	若月運動具S/S
加藤為吉（京都）	（株）三英商会	日本シェルター（株）
近藤綾子（茨城）	（株）サトミ産業	（株）藤栄
酒井健一（山形）	オオニシ体育（株）	日本海外航空サービス（株）
森山実（長崎）	（株）ササキスポーツ	旭化成工業（株）
真坂寅雄（京都）	（株）都村製作所	原藤整染（株）
土田悦郎（滋賀）	（株）小川長春館	栃尾ニット（株）
米田満（山形）	小糸工業（株）	（株）ワボー
山田義雄（佐賀）	セノ一（株）	児島（株）
青池清一（福井）	（株）林運動具S/S	（株）グリーンメイト
松山守（大分）	（株）河坂運動具S/S	明石被服興業（株）
松本得爾（大阪）	（株）日都産業	日本教育シューズ協議会
領家篤（島根）	三和体育製販（株）	（株）九幸商店
宝田利次（愛知）	木下運動具工業（株）	コトブキスポーツ商会
村上亀恵（東京）	（株）イノコアサヒヤ	糸吉被服（株）
（順不同、以上本部役員を 除く個人賛助会員）	（株）富士産業	（順不同、以上法人・団体 賛助会員）
	後藤体器（株）	
	（株）中條 S/S	

編集後記

学体連は昨年度画期的な体質改善を行ない、情報の交換をより活発にすべく公約したにもかかわらず、変革に伴なり移行措置に追われ、延引に延引を重ね申し訳ありません。昨今漸やく事務体制も整い、事業の性格位置付けもすっきりしましたので、今後はご迷惑をかけないですむ見込みがたちました。11月29日、30日の全国大会には、文部省体育局長も主催側としてご挨拶下さることになっていますので、ふるってご参会をお願いします。



事務局だより

学体連事務局は本部と分室（品川区東五反田富久屋・ニッカ共同ビル5階）に置いていましたが、本年9月より分室を廃し、本部に統合いたし、その機能を拡充して本部一本で運営しております。ここに改めてお知らせいたします。

財団法人日本学校体育研究連合会

収入の部

【 一般会計 】

昭和52年10月4日補正

科 目	予 算 額	当 初 予 算 額	増 減 (△)	摘 要
1. 分 担 金 等	2,700,000	5,800,000	△ 3,100,000	
(1) 加盟団体分担金	700,000	600,000	100,000	
(2) 賛助会費	2,000,000	5,200,000	△ 3,200,000	
2. 基 金 収 入	280,000	581,698	△ 301,698	
(1) 基 金 収 入	280,000	581,698	△ 301,698	
3. 事 業 収 入	300,000	5,500,000	△ 5,200,000	
(1) 研 究 大 会	0	5,000,000	△ 5,000,000	
(2) 講 習 会	300,000	500,000	△ 200,000	
4. 寄 付 金	3,000,000	0	3,000,000	
(1) 一 般 寄 付	3,000,000	0	3,000,000	
5. 補 助 金	1,000,000	0	1,000,000	補正加入科目
(1) スポーツ財団補助金	1,000,000	0	1,000,000	"
6. 雑 収 入	361,762	98,302	263,460	
(1) 雑 収 入	361,762	98,302	263,460	
7. 繰 越 金	524,238	0	524,238	
小 計	8,166,000	11,980,000	△ 3,814,000	

収入の部

【 特別会計 】

1. 基 金 収 入	420,000	0	420,000	補正加入科目
(1) 基 金 収 入	420,000	0	420,000	"
2. 寄 付 金	21,000,000	30,500,000	△ 9,500,000	
(1) 指 定 寄 付	21,000,000	30,500,000	△ 9,500,000	
3. 一般会計より繰入	475,200	0	475,200	補正加入科目
小 計	21,895,200	30,500,000	△ 8,604,800	
合 計	30,061,200	42,480,000	△ 12,418,800	

支出の部

【 一般会計 】

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減 (△)	摘 要
1. 事 務 費	5,402,800	5,950,000	△ 547,200	
(1) 通 信 電 話 料	870,000	500,000	370,000	科目名変更
(2) 旅 費 交 通 費	1,260,000	1,000,000	260,000	新規科目
(3) 消 耗 品 費	100,000	50,000	50,000	
(4) 印 刷 費	250,000	100,000	150,000	
(5) 什 器 備 品 費	100,000	100,000	0	科目統合
(6) 水 道 光 熱 費	0	100,000	△ 100,000	
(7) 人 件 費	2,300,000	2,800,000	△ 500,000	
(8) 会 議 費	108,000	300,000	△ 192,000	
(9) 貸 借 費	184,800	500,000	△ 315,200	
(10) 雑 費	50,000	100,000	△ 50,000	
(11) 委 員 会 費	150,000	300,000	△ 150,000	
(12) 渉 外 費	30,000	100,000	△ 70,000	新規科目
2. 事 業 費	1,550,000	5,800,000	△ 4,250,000	
(1) 講 習 会 費	350,000	500,000	△ 150,000	
(2) 研 究 大 会 費	600,000	5,000,000	△ 4,400,000	
(3) 会 報 費	600,000	300,000	300,000	新規科目
3. 団 体 加 盟 費	30,000	30,000	0	
(1) 加 盟 費	30,000	30,000	0	
4. 積 立 金	0	0	0	
5. 予 備 費	200,000	200,000	0	
6. 特別会計に繰入	475,200	0	475,200	補正加入科目
7. 次 年 度 へ 繰 越	508,000	0	508,000	
小 計	8,166,000	11,980,000	△ 3,814,000	

支出の部

【 特別会計 】

1. 事 務 費	2,895,200	0	2,895,200	補正加入科目
(1) 旅 費 交 通 費	248,000	0	248,000	"
(2) 人 件 費	2,340,000	0	2,340,000	"
(3) 貸 借 費	277,200	0	277,200	"
(4) 委 員 会 費	30,000	0	30,000	"
2. 助 成 事 業 費	9,000,000	12,000,000	△ 3,000,000	
(1) 学 校 体 育 助 成 事 業	9,000,000	12,000,000	△ 3,000,000	
1) 研 究 補 助	6,900,000	5,000,000	1,900,000	
ア) 研 究 学 校 助 成 費	4,500,000			科目名変更
イ) 研 究 調 査 助 成 費	400,000			"
ウ) 全 国 大 会 研 究 調 査 助 成 費	2,000,000			"
2) 研 究 紀 要 作 成 費	700,000	4,300,000	△ 3,600,000	
ア) 『学 校 体 育 研 究』作 成 費	700,000	2,000,000	△ 1,300,000	
イ) 研 究 紀 要 印 刷 費	0	2,300,000	△ 2,300,000	
3) 体 育 特 色 校 要 覧 作 成 費	0	700,000	△ 700,000	
4) 優 良 校 ・ 功 労 者 表 彰 費	1,400,000	2,000,000	△ 600,000	
3. 基 本 財 産 繰 入	10,000,000	18,500,000	△ 8,500,000	
小 計	21,895,200	30,500,000	△ 8,604,800	
合 計	30,061,200	42,480,000	△ 12,418,800	